

第 21 回横浜環境活動賞審査委員会（第 2 回）会議録

日 時	平成 26 年 3 月 24 日（月）13 時 00 分～16 時 30 分
開催場所	関内中央ビル 3A 会議室
出席者	川崎 あや 委員、北村 亘 委員、為崎 緑 委員、戸川 孝則 委員、若林 史郎 委員
欠席者	篠木 幹子 委員、橋本 淳 委員
開催形態	公開（傍聴者 19 名）
議 題	<p>1 受賞候補者の審査</p> <p>(1) 市民の部</p> <p>(2) 企業の部</p> <p>(3) 児童・生徒・学生の部</p> <p>(4) 特別賞</p> <p>2 受賞候補者の決定</p> <p>3 その他</p>
決定事項	<p>第 21 回横浜環境活動賞受賞候補者</p> <p>【市民の部】</p> <p><大賞> 新横浜町内会</p> <p><実践賞> 泉区農業応援隊</p> <p> NPO 法人 海の森・山の森事務局</p> <p> 特定非営利活動法人 こどもりクラブ</p> <p> 青少年みどり遊楽舎</p> <p> 綱島バリケン島プロジェクト</p> <p> 水辺愛護会 帷子川はふるさとの川の会</p> <p> よこはま緑の推進団体港北区連絡会</p> <p>【児童・生徒・学生の部】</p> <p><大賞> 横浜市立山下みどり台小学校</p> <p><実践賞> 神奈川県立総合高等学校 エコ局</p> <p> 横浜市立大学環境ボランティア Step Up ↑</p> <p> 横浜市立矢向小学校ビオトープ委員会</p> <p>【企業の一部】</p> <p><大賞> プリンズ電機株式会社</p> <p><実践賞> 生活協同組合ユーコープ</p> <p> 大成建設株式会社技術センター</p> <p> 株式会社ノーリツ 神奈川支店</p> <p> 株式会社 ファンケルスマイル（特例子会社）</p> <p> 三井不動産株式会社 横浜支店・三井不動産</p> <p> レジデンシャル株式会社 横浜支店</p> <p>【生物多様性特別賞】</p> <p> 水辺愛護会 帷子川はふるさとの川の会</p>
議 事	<p>事務局 定刻になりましたので、始めさせていただきます。本日はお忙しい中、お集まりいただき、どうもありがとうございます。ただ今から、第 21 回「横浜環境活動賞」審査委員会を開催させていただきます。</p> <p> 傍聴者の皆様におかれましては、お手元に資料 4「応募者概要」をお配りしています。こちらの資料はあくまで紹介用として応募用紙の内容を抜粋した概要版であり、事前審査、本審査に使用するものではありません。</p> <p> 当委員会についてでございますが、横浜環境活動賞の受賞者を市長が決定するにあたり、選考に関してご審議いただきたく、設置したものでございます。前回 1 月 20 日に開催しました第 1 回の審査会で、審査基準を決定し、それに基づき委員の皆様には事前審査をしていただきました。本日は、本審査として、受賞候補者の選考を行っていただきます。</p>

これより議事に入りますが、要綱の規定により、審査委員会の議長は委員長になっておりますので、以降の議事進行を、川崎委員長よろしくお願いたします。

川崎委員長 まず、本日の委員会は「横浜環境活動賞審査委員会運営要綱」第4条第3項により、委員の過半数の出席が得られておりますので、成立していることを報告します。

また、本委員会は要綱第5条により公開となっております。応募者の皆さんに、どのようなところが評価され、どのようなところが評価されなかったかがきちんと伝わるように審査していきたいと思っております。では、審査の流れについて、事務局から説明をお願いします。

事務局 (審査の手順の説明)

川崎委員長 本日、欠席の委員については、事前審査でつけた点数をそのまま最終評点の計算に使用することとします。特別賞については、最終投票は、本日出席の5名分の票数によるところとします。では、審査に入ります。

【市民の部】

泉区農業応援隊

為崎委員 活動は充実しているが、自立の過渡期にあたるので、基盤ができてからの受賞でもよいかと思う。農業支援自体は素晴らしい活動だが、後継者不足の根本的解決とはなっていないのではないかと。

川崎委員長 農家を支える市民、支えられる側の農家という関係の範囲にとどまっている。今後、活動が発展していけばより可能性がある。

戸川副委員長 効果をどう測るのかのプロセスがこれからだと思う。効果測定が始まると面白いと思う。どうやって効果を可視化できるかが課題。

為崎委員 隊員の年齢構成を見ると、若い人もいるので、これらの人達が農業に本格的に入ってきてくれるといった今後に期待できると思う。

川崎委員長 今後、継続させるための仕組みや、活動の場が広がってほしい。

北村委員 どういう農業をしていきたい、というところまでアイデアが見えてくると良い。たとえば、“環境に配慮した農業”など。今後さらに期待する。

NPO 法人 海の森・山の森事務局

若林委員 水の大切さを啓発する幅広い活動をしていて、他団体との連携も行われている。

川崎委員長 活動的内容的にはユニーク。ただ、まだ代表者の私的なつながりの域を脱していないように感じる。活動の趣旨に賛同する輪がさらに広がればよい。水の大切さを訴えるメッセージ自体は、コンサート等を通して発していけば効果があると思う。

為崎委員 体制に広がりがないのが気になった。活動内容については、企業をとりこんでエネルギーの地産地消の取組をしているのは素晴らしい。

北村委員 横浜以外での活動を、「横浜環境活動賞」の中でどう評価するのか難しい。

こどもりクラブ

北村委員 子どもたちが木と触れ合うのは素晴らしい。子どもたちにその意図をどう伝えるかの工夫が出てくると良い。遊びが原点で、自然のすばらしさが分かる大人に成長することもあるので、そのバランスが難しいところだが。

為崎委員 エコノートはとてもおもしろい取組。継続していくしくみをどうするかが重要。継続にあたって資金面での課題が少しあると感じる。

戸川副委員長 子どものニーズに応えるための手法をもう少し明確にしていくと、応援してくれる企業なども出てくるのでは。

北村委員	資料だけだとそのあたりは見えにくいかもしれない。
為崎委員	楽しいだけで終わらせないために、解説のための時間を設けるなど、意識づけはしていると資料に記載しているので、その部分の発展に期待したい。
	<u>新横浜町内会</u>
戸川副委員長	取組自体はとてもユニークで、分かりやすく良い。他の町内会に広めていってほしいと思う。
若林委員	町内会も、企業が多いがとても良い活動をしている。広報を行うことで、取組を広く知ってもらいことはできるが、他町内会へ広げていくのはなかなか難しい面もあるかもしれない。
為崎委員	印象として、取組がこの3年間で全体的にトーンダウンしたように感じる部分が気になった。
川崎委員長	この団体に限った話ではないが、ある活動について他の人が知りたいというときに、聞いてみたら終了していた、というのは少し寂しいと感じる。取組を継続していくため、いろいろな人に助言をもらいながら進めていくのも良いかもしれない。
	<u>青少年みどり遊楽舎</u>
為崎委員	プラス面は、学校の教員を対象に講座を行うなど、発展がみられるところ。気になるところは、組織としての基盤。ネットワークの構築もまだ途中である。
川崎委員長	学校から依頼を受けたら動くという受身の姿勢ではなく、ぜひ積極的に活動してほしい。
	<u>網島バリケン島プロジェクト</u>
北村委員	この団体と、鶴見川流域ネットワークとのつながりが分かりにくい。バリケン島単体での取組はどれか。また、団体の主導者に活動が依存しがちなことも気になる。
為崎委員	プラス面としては、19年も定例的な活動を継続している点と、その中でいろいろなジャンルや手段を取り入れている。過去の実績も評価に値する。この団体単体での継続性には多少不安がある。
川崎委員長	鶴見川流域ネットワークとの連携をプラスととらえるのか、自団体だけではできないというマイナスととらえるのか、迷った。ネットワークを駆使している、とも言える。
若林委員	10年以上という長い期間、小規模ながら多彩な活動をしていることは評価に値する。
	<u>水辺愛護会 帷子川はふるさとの川の会</u>
北村委員	川のごみ拾いだけかと思ったが、その活動から見えてきたものがあり、過去からの活動の流れが見えてきたことが高評価。
戸川副委員長	とても重要な取組だと思うが、参加者が減ってきているのがもったいない。何かもう一歩リノベーションしたら、という期待をする。
為崎委員	応募用紙の書き方がもったいない部分がある。多彩な活動をしているので、それを全面的に出してほしい。また、今後の体制の基盤が気になる。後継者の育成をぜひ頑張ってもらいたい。
	<u>横浜市立太尾小学校 緑化ボランティア</u>
北村委員	活動としては少し物足りなく感じる。継続性のことを考えると無理はしないのが大切。身の丈に合っている活動をしていることを評価したい。
為崎委員	小学校1校に対してのみの取組を評価するのは難しいと感じた。波及性としては少し弱いのではないか。決定権が学校にあるということなので、団体と学校が対等にやっていける方向まで持っていけるといいのでは。
川崎委員長	学校の依頼のとおり動くだけではなく、自主的に、またメンバーの問題意識から活動が行われればより良い。
若林委員	学校の中ではとても良くやっているが、他への広がりを考えると、為崎委員が発言したとおりだと思う。
戸川副委員長	活動の広がりが見えてくることに期待したい。

よこはま緑の推進団体港北区連絡会

為崎委員 皇帝ダリアの苗を配って広めるといったシンプルな活動は分かりやすいが、これを通じた環境意識の啓発など、環境面での取組の効果が気になった。

北村委員 ダリアを配ったことで、最終的にどう環境保全に結びつかが見えにくいのが残念。

若林委員 北村委員と同じ。なお、ダリアの活動は平成 22 年からということで、それ以前の平成 5 年からの活動も加味した。

戸川副委員長 活動自体はシンプルで分かりやすいので、広まりやすい。この活動からさらに始まることであっても面白いと思う。

流域連携よこはま

為崎委員 団体の立ち上げ時に目指していたものに対して、まだ道半ばのようだ。受賞には少し早いという印象。成果が出てからでも良いのでは。ネットワークなので、上位団体的な位置付けであると思うが、個々の団体との関係が整理されていくと良い。まだのびしろがある。

北村委員 最終的に目指すビジョンが伝わりにくかったのがもったいない。今後の広がりや可能性はあると思う。

川崎委員長 連携することでどのようなメリットがあるのか、課題の解決につながっていくのか、が見えにくい。理念はあるが、それをどう具現化していくか。

若林委員 まだ成果は見えていないが、将来性にかけてもよいかと思った。

ビジョン自体ができていないので、それができてから始まるのだろうと思う。まだ評価が難しい。

【企業の部】

有限会社 アルファグリーン

戸川副委員長 これは期待値だが、太陽光パネルを設置して下草の処理に困っているところがたくさんある。そのようところに広がっていくと良いと考えながら評価した。

為崎委員 手法の独自性は評価できるが、導入企業のイメージアップや、短期的な実験の段階の部分があると思う。除草の手段として、レンタルヤギが選択されるようになってからが本当に評価できる時では。

川崎委員長 創造的な部分と、ビジネスとしての戦略的な部分があると思うが戦略的な部分についてはまだ未知数ではないか。

北村委員 レンタルヤギだけでなく、企業全体としてどういう方向なのか知りたい。

生活協同組合ユーコープ

北村委員 多岐にわたり、いろいろな活動をしている。この企業にしかできない、という環境活動をしているというのはひとつ大きな評価となるので、ユーコープにしかできないことをしていて、とても良い。ただ、横浜とどのようにつながるかは気になった。

為崎委員 横浜発の部分が弱いと感じる。

川崎委員長 コープ静岡、山梨が一緒になっているので、横浜独自のものはなかなか難しいかもしれない。

戸川副委員長 大きな事業者ではあるが、環境への取組について、きちんとアンケートをとり、PDCA サイクルで取り組んでいることがすばらしい。

大成建設株式会社技術センター

為崎委員 開発の段階から、環境に配慮した計画を実施している部分を評価した。また、取組の成果も見られる。企業の中の一部の人の取組ということではなく、全体で取り組んでいることも高評価である。

北村委員 社会貢献活動の中で、横浜での取組がいろいろあるのが良いと思った。

川崎委員長 期待値としては、地域の団体や学校とつながるとさらにいいなと思う。

戸川副委員長	大成建設だからことできることが必要。さらに特色が出てくると良いと思う。 中山学院 サイエンスフロンティア高校
為崎委員	企業の部として、内容的にどう評価するのが難しかった。学生の部で応募した方がわかりやすかったように思う。
川崎委員長	学生の部だと、生徒に主体性が求められるので難しいかもしれない。
北村委員	学院ということであれば、生徒と一緒にどういうことができているか分かりやすく示していければより良いと思う。 株式会社ノーリツ 神奈川支店
北村委員	企業として、時代のニーズに合った給湯器など、環境面に配慮した製品開発を行っているのが素晴らしい。また、「太陽光を何に変えようプロジェクト」もとても良い。このような取組が増えればよい。通り一遍の講座ではなく、その企業だからこそできる講座を考えている。
為崎委員	それぞれの取組が、特別に独自性があるものではないが、包装・出荷から使用済み機回収後までといった一貫した取組姿勢を評価した。
戸川副委員長	「太陽光を何に変えようプロジェクト」が、3回ほど実施し終わった時に、どのような取組に発展しているかに期待したい。
若林委員	ビジネスを基盤に、環境活動を着実に実施しているという印象を受ける。 株式会社 ファンケルスマイル (特例子会社)
為崎委員	特例子会社にもいろいろあるが、福祉面のみでなく、環境活動もしっかりと取り組んでいるということが高評価。期限が近い化粧品をメイク講座に使用するという、有効的な廃棄物の削減方法も評価が高い。
北村委員	自家菜園の取組が良いと思う。地域の人や行政と関わっている。
為崎委員	特例子会社でありながら、地域などとのネットワークが素晴らしい。
川崎委員長	環境活動賞としての評価であるので、障害者雇用の面と天秤にかけての評価はしていない。そのため、他の特例子会社と比べ、抜きんでいるのか分からなかったが、かなり頑張っているということでのいいのか。
為崎委員	そうだと思う。この会社に続くところが出てきてほしい。けん引役としての期待を込めて評価している。
川崎委員長	特例子会社だからこそ、障害者の雇用にも、環境にも配慮できるモデルを示せれば素晴らしいと思う。
若林委員	環境に関して、全方位に取組を展開していて良いと思う。 プリンス電機株式会社
為崎委員	取引先まで巻き込んだ活動になっているところが先駆的だと思った。地域との連携も進めているところが高評価。
北村委員	企業全体として、照明を軸に環境活動につなげていけるところがいいと思う。
戸川副委員長	自社のコアとアウトプットがしっかりしている。計画中の講座に期待したい。 三井不動産株式会社 横浜支店・三井不動産レジデンシャル株式会社 横浜支店
北村委員	マイナスポイントが探しにくい。
若林委員	ビジネスそのものに位置付けられているので、評価が難しいところがある。
為崎委員	マンションのスマート化が根付く段階にはまだ行っていない。まだ効果が見えていないので、根付いたところで評価したいと感じる。
川崎委員長	素晴らしい事業ではあるが、成果が見えていないということをどう評価するか。

【児童・生徒・学生の部】

神奈川県立神奈川総合高等学校 エコ局

北村委員 シンポジウムを定期的に開催しているのが大変よい活動。高校生が主体となって動き、積極的な姿勢が見えるのが良いところだと思う。

若林委員 校内活動は充実しているが、地域との関わりなど、校外活動が増えると良い。

川崎委員長 地域とのつながりを期待したい。なかなかハードルが高いとは思いますが。

為崎委員 地域との関わりについては、生徒の自発性の中でその必要性が出てきたときでよいのではないかと感じる。大人が誘導してもあまり意味がない。現在の活動が充実しているので、その延長上で地域との関わりが必要が出てきたときに、つながりをつくる方がいいと思う。

川崎委員長 素晴らしい取組をしているので、さらに期待してしまうが、たしかにその通りかもしれない。

戸川副委員長 ぜひ、地域への情報発信をしてほしい。この学校がひとつのモデルをつくると、他の学校でも取り組むところが出てくるかもしれない。

横浜市立あざみ野中学校

為崎委員 定期的に活動しているのはよいが、コスモスの会主導なので、生徒の主体性の面が気になる。また、活動への参加者も限られている。

北村委員 内容の面でも、他の生徒を巻き込むという広がりがほしい。

若林委員 広がりや、つながりがほしいと感じる。

戸川副委員長 ただ、10年続けているのはすごいこと。

川崎委員長 10年の中で、地域の人が呼びかけをしてくれるということに対して気付きがあり、さらなる発展の機会がなかったのは残念。

為崎委員 先輩たちが続けてきたことの蓄積がほしい。

横浜市立大学環境ボランティア Step Up↑

北村委員 ごみを減らせるか、というところから活動を広げていけたのがよい。

川崎委員長 学業やアルバイトなどと両立させながらの精一杯の取組なのか、それともさらに活動の余地があるのか、読み取りにくかったので評価が難しかった。

為崎委員 大学生なので、より期待をしてしまうところもあるが、もう少し組織だった活動にできないかと感じた。全体的に受身の表現になっているのが気になった。ぜひ、続けていくためのしくみを築いてほしい。

北村委員 サークル活動なので、来年の活動内容は来年のメンバーが考える、というスタンスがあると思う。

若林委員 長く活動している点が評価できる。

川崎委員長 「自主的」というのは、自分たちでイベント等を仕掛けるのか、声を掛けられたら何でもやるというのも自主的というのか、判断に迷うところはある。

戸川副委員長 情報共有についてなど、課題は見えているようだ。活動が回っていくしくみがつくれるといい。

横浜市立矢向小学校 ビオトープ委員会

北村委員 ビオトープを何のためにつくるのかを考えてもらえるよい。ホテル以外のことにも注目してやってもらえればと思う。なぜホテルなのか？という元々のところから。本来、ホテルは清流を好むので、本当に池に放すのがいいのか、など。

為崎委員 小学生なので、若干甘めに評価した部分はある。小学生が自主的に発表会を開催したり、ちらしを配ったりすることで気付きがあるのでは。

川崎委員長 池の維持管理など、日常のメンテナンスは地味な作業が多いと思うので、そのことに小学生が取り

	組んでいることは評価できる。
北村委員	ホテルに触れる機会を増やすだけという現在のやり方以外で環境教育を展開してほしい。本当にホテルにとって今の環境がいいのかを考える、など。
川崎委員長	生徒たちが、ホテルを池に放すことがいいのか悪いのか、という議論をしてはどうだろうか。
	横浜市立山下みどり台小学校
北村委員	活動が多岐にわたっている。毎年少しずつ違うことをやっているのが良い。
為崎委員	すべて教職員の企画によるが、子どもたちが自主的に動いているように思えるよう、工夫している、とある。もう一步進んで、子どもたちの自主性によるところがあってもいいかなと思う。
北村委員	自主性が弱いのは気になった。
川崎委員長	環境教育としてはすばらしいと思う。子どもの自主性がどこまで育てられているか。
若林委員	幅広くやっているので、自主性まで求めるのは難しいかもしれない。
戸川副委員長	こんな素晴らしい取組をしている学校があるのかと感じた。他校でも取り組めるようなモデルになっていけば。
川崎委員長	この学校の卒業生がどのような大人になっているのか興味がある。
	【特別賞】
事務局	事前審査の結果では、山下みどり台小学校が4票、水辺愛護会 帷子川はふるさとの川の会、綱島バリケン島プロジェクト、大成建設株式会社技術センターがそれぞれ1票となっています。
川崎委員長	それぞれに推薦理由をお教えいただければ。
北村委員	水辺愛護会を推薦する。大成建設とまよったが、市民の活動に特別賞を受賞してほしいと思った。川の清掃をしていく中で、絶滅危惧種の発見やアユのための道づくりなど、「その地域の生物多様性」を見つけている。普段から生物多様性を意識しているからこそだと思う。
為崎委員	綱島バリケン島プロジェクトを推薦したい。活動そのものを評価している。子どもたちに生物多様性を実感させる取組をしていると思う。啓発にとどまらず、アクションにつなげるのが重要と思うが、その部分まだ弱いのかなとも感じる。
戸川副委員長	大成建設は、モニタリングをして効果測定をしている。敷地内にどんな生き物を呼ぶのかまできちんと考えてビオトープなどをつくるのは難しいと思う。
北村委員	モニタリングをしているのはすばらしい。大企業なので、さらにならばしてほしいとも感じる。
若林委員	山下みどり台小を推薦したい。文句なしではないか。
川崎委員長	山下みどり台小は、活動が多彩。子どもたちに対しての啓発だけでなく、実行性があることが重要だと思う。小さな取組だが、実践につながっていると思った。
戸川副委員長	特別賞の基準では、「特に子どもたちに対して・・・」となっている。ここをどう考えるかが重要ではないか。
川崎委員長	山下みどり台小は、「子どもたちに対して」という点では申し分ない。実行性の面ではどうか。
為崎委員	子どもたちを対象とした取組はひとつではない。いろいろなことに取り組む方が子どもたちも気づきがあるのではないだろうか。表彰対象となった時に、他の模範となるような分かりやすい取組という観点で考えると、水辺愛護会ではないか。取組内容が分かりやすいものの方がいいと思う。
北村委員	山下みどり台小は、活動の中でいろいろな場を設けて工夫をし、子どもたちが生物多様性について気づくところまで含めて仕掛けをできていれば、啓発としてより良かったと思う。
為崎委員	大成建設は、子どもたちというところでは弱いかな。
川崎委員長	子どものことを考慮しなくても、素晴らしい取組であると評価できれば良いと思う。

為崎委員	大成建設は、企業として生物多様性のことまで考えているということが素晴らしいと思うが、「子ども」という視点を考えると難しいかもしれない。
川崎委員長	水辺愛護会が、アユや絶命危惧種などを重要なことだと考えているかどうかも大切。たまたま生物多様性につながった、ということだけでなく、そのことを重要なことと認識して、特別賞受賞後も啓発していつてもらえるかどうか。
戸川委員	水辺愛護会の絶滅危惧種やアユのことは、二次的な結果だと思うが、それを認識しているからこそ、応募用紙に記載しているのだと思う。
川崎委員長	生物多様性について何かやっていることがあれば書いてください、というPR欄がほしい。
北村委員	水辺愛護会についても、資料を読み込んでいってやっとなと取組を拾えた。どの団体も生物多様性に全く取り組んでいないことはないと思うので、ぜひアピールする欄を。
事務局	次回以降の検討課題とさせていただきます。 ～再投票～
川崎委員長	集計ができたようですので、事務局から集計結果の報告をお願いします。
事務局	まず「 市民の部 」についてですが、「実践賞」の対象となる15点以上の団体は、「泉区農業応援隊」、「NPO法人 海の森・山の森事務局」、「特定非営利活動法人 こどもりクラブ」、「新横浜町内会」、「青少年みどり遊楽舎」、「綱島バリケン島プロジェクト」、「水辺愛護会 帷子川はふるさとの川の会」、「よこはま緑の推進団体港北区連絡会」です。このうち、「大賞」の候補団体は、19.00点の最高点を獲得した「新横浜町内会」となりました。
川崎委員長	いま報告がありましたとおり、審査委員会としては、最高点の「新横浜町内会」を、「市民の部」大賞候補者として選定し、15点以上の団体を、実践賞候補者として選定したいと思いますがいかがでしょうか。
委員	異議なし。
川崎委員長	では、そのように決定したいと思います。
事務局	次に「 企業の部 」についてですが、「実践賞」の対象となる15点以上の企業は、「生活協同組合ユーコープ」、「大成建設株式会社技術センター」、「株式会社ノーリツ 神奈川支店」、「株式会社 ファンケルスマイル（特例子会社）」、「プリンス電気株式会社」、「三井不動産株式会社 横浜支店・三井不動産レジデンシャル株式会社 横浜支店」です。このうち、「大賞」の候補企業は21.00点の最高点を獲得した「プリンス電気株式会社」となりました。
川崎委員長	いま報告がありましたとおり、審査委員会としては、最高点の「プリンス電気株式会社」を、「企業の部」大賞候補者として選定し、15点以上を、実践賞候補者として選定したいと思いますがいかがでしょうか。
委員	異議なし。
川崎委員長	では、そのように決定したいと思います。
事務局	次に、「 児童・生徒・学生の部 」についてですが、「実践賞」の対象となる15点以上の団体は、「神奈川県立総合高等学校 エコ局」、「横浜市立大学環境ボランティア Step Up ↑」、「横浜市立矢向小学校ビオトープ委員会」、「横浜市立山下みどり台小学校」です。このうち、「大賞」の候補団体は19.14点の最高点を獲得した「横浜市立山下みどり台小学校」となりました。
川崎委員長	いま報告がありましたとおり、審査委員会としては、総合評価最高点の（団体名）を、「児童・生徒・学生の部」大賞候補者として選定し、15点以上を、「児童・生徒・学生の部」実践賞候補者と

して選定したいと思いますがいかがでしょうか。

委員

異議なし。

川崎委員長

では、そのように決定したいと思います。

事務局

最後に「生物多様性特別賞」についてですが、
「水辺愛護会 帷子川はふるさと川の会」が3票、「大成建設株式会社技術センター」が1票、「山下みどり台小学校」が1票で、「水辺愛護会 帷子川はふるさと川の会」が最も多い得票数となりました。

川崎委員長

いま報告がありましたとおり、審査委員会としては、「水辺愛護会 帷子川はふるさと川の会」を「生物多様性特別賞」候補者として、選定したいと思いますがいかがでしょうか。

委員

異議なし。

川崎委員長

審査については、以上で終了します。その他、委員の皆様から何かありますか。生物多様性特別賞のアピール欄については、ぜひ検討いただきたい。

為崎委員

事務局からの質問の段階で、いろいろな取組内容を拾えるようにしてもらえればいいと思う。

川崎委員長

応募用紙の書き方について、事務局からも助言をできるようにしてはどうだろうか。
記入欄のフォーラムに文字数資源があるのかないのか、分かっていない応募者が多かったように思う。読み手としては、ある程度の文字数の中でまとめてもらう方がいいが、応募者はいろいろ書きたいことがあるだろう。文字数について、制限の有無をはっきり書いておいてもらえる方がいいと思う。

事務局

次回以降の検討事項とさせていただきます。

川崎委員長

これで議事は終わりたいと思います。では、事務局にお返しします。

事務局

委員長はじめ、委員の皆様には長時間にわたり、大変熱心にご議論いただき、ありがとうございます。受賞候補となった団体はもちろんのこと、今回、選考に漏れた団体も、今後もさまざまな活動を継続し発展させていただくことを期待し、私ども行政も様々な形で支援に取り組んでいく所存です。

本日の会議録についてですが、第1回同様、公開とさせていただきます。委員の皆様には事前にご確認をいただきます。

今後の予定についてご説明しますので、資料7をご覧ください。本日の審査委員会の審査をふまえ、市長が被表彰者を決定します。決定についての正式な連絡は、あらためて文書にて通知いたします。

表彰式は6月6日（金）の午後に開催します。あらためてご案内申し上げます。また、表彰式において、受賞団体の活動を紹介する事例集の配付及び、パネルの掲示を行います。受賞者の方々には、後日、正式にご依頼させていただきますが、原稿の執筆をお願いいたします。

パネルは表彰式後、みなとみらいのクロスパティオにて（6月12日～6月18日まで）展示する予定でございます。ぜひご覧ください。また、今回大賞および生物多様性特別賞に選ばれた団体の皆様には、6月14日（土）にみなとみらいで開催予定の「環境行動フェスタ」において、それぞ

	<p>れ 15 分程度のご講演をいただければと考えております。 詳細については、別途ご相談させていただきます。</p> <p>また、1 月 20 日に開催しました第 1 回の審査委員会におきまして、次回以降の課題として挙げられております、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去の応募書類のホームページでの公開について ・過去に受賞した団体の審査方法について ・過去に大賞を受賞した団体の応募の可否について <p>等を検討してまいります。それにより第 22 回以降の横浜環境活動賞の募集要項が変更になる場合がございます。あらかじめご了承くださいませようよろしくお願いいたします。</p> <p>では、第 21 回横浜環境活動賞審査委員会はこれをもって終了いたします。ありがとうございました。</p>
<p>資料 1</p> <p>資料 2</p> <p>資料 3</p> <p>資料 4</p> <p>資料 5</p> <p>資料 6</p> <p>資料 7</p> <p>資料 8</p>	<p>横浜環境活動賞審査委員会 委員名簿</p> <p>横浜環境活動賞実施要綱</p> <p>横浜環境活動賞審査委員会運営要綱</p> <p>第 21 回横浜環境活動賞 応募者概要</p> <p>審査基準（市民の部／企業の部／児童・生徒・学生の部／特別賞）</p> <p>生物多様性特別賞事前審査結果</p> <p>今後の流れ</p> <p>（参考資料）これまでの受賞者一覧</p>

第 21 回 横浜環境活動賞審査委員会（第 2 回）

平成 26 年 3 月 24 日（月）13 時～
於 関内中央ビル 3 A 会議室

次 第

1 開 会

2 議 事

(1) 受賞候補者の審査

- ・市民の部
- ・企業の部
- ・児童・生徒・学生の部
- ・特別賞

(2) 受賞候補者の決定

(3) その他

3 閉 会

【配付資料】

- 資料 1 横浜環境活動賞審査委員会 委員名簿
- 資料 2 横浜環境活動賞実施要綱
- 資料 3 横浜環境活動賞審査委員会運営要綱
- 資料 4 第 21 回横浜環境活動賞 応募者概要
- 資料 5 審査基準（市民の部／企業の部／児童・生徒・学生の部／特別賞）
- 資料 6 生物多様性特別賞事前審査結果
- 資料 7 今後の流れ
- 資料 8 （参考資料）これまでの受賞者一覧

横浜環境活動賞審査委員会 委員名簿

(敬称略、五十音順)

氏 名	所 属
かわさき 川崎 あや	特定非営利活動法人アクションポート横浜 理事
きたむら 北村 亘	東京都市大学環境学部 講師
しのき 篠木 幹子	中央大学総合政策学部 准教授
ためさき 為崎 緑	中小企業診断士
とがわ 戸川 孝則	横浜市資源リサイクル事業協同組合 企画室長
はしもと 橋本 淳	横浜市町内会連合会 委員
わかばやし 若林 史郎	横浜商工会議所 経済政策部長

任期：平成 25 年 11 月 1 日～平成 27 年 10 月 31 日

横浜環境活動賞実施要綱

(目的)

第1条 この要綱は、環境保全・再生・創造に関し顕著な功績のあった個人、団体、企業及び児童・生徒・学生を表彰（以下「横浜環境活動賞」という）することによって、環境に対する意識高揚を図り、環境に配慮した活動を推進し、環境保全型社会の創造を図ることを目的とする。

(表彰の区分)

第2条 この要綱による表彰は、次のとおり区分することとし、(1)から(3)の各部門においては実践賞及び大賞を設置する。

- (1) 市民の部 個人及び団体に対する表彰
- (2) 企業部 企業に対する表彰
- (3) 児童・生徒・学生の部 児童・生徒（小・中学生）、学生（高校・大学生）を中心とする団体に対する表彰

2 前項に定める実践賞及び大賞の他、市長は、必要に応じて特別賞を設置することができる。

(表彰対象)

第3条 横浜環境活動賞の表彰対象は、次に掲げるいずれかの要件に該当するものとする。

- (1) 環境保全・再生・創造に関し普及啓発、実践活動等を行い、その成果が認められるもの
- (2) 環境に配慮した活動を行い、環境保全・再生・創造の推進に貢献しているもの
- (3) その他市長が表彰に値すると認めるもの

2 前項の規定にかかわらず、次のいずれかに該当するものは表彰の対象としない。

- (1) 既に横浜環境活動賞大賞を受けたもの
- (2) その他市長が適当でないと認めたもの

(表彰の方法)

第4条 横浜環境活動賞の表彰は、表彰状を授与して行う。

2 前項の場合において、記念品等を併せて授与することができる。

(候補者の募集)

第5条 横浜環境活動賞の表彰対象となる候補者は、一般公募及び横浜市の関係局区、学校長、市民団体等の推薦により募集する。推薦を行うものは、次の基準により個人、団体、企業、児童・生徒（小・中学生）、学生（高校・大学生）を中心とする団体を推薦するものとする。

2 候補者の資格は次のとおりとする。

- (1) 個人 横浜市内に居住又は勤務先を有するもの
- (2) 団体 団体の主たる活動を横浜市内で実施しているもの、若しくは団体の本拠地を横浜市内に有するもの
- (3) 企業 横浜市内に事業所を有するもの
- (4) 児童・生徒・学生 横浜市内に通学する児童・生徒（小・中学生）、学生（高校・大学生）を中心とする団体

3 推薦基準は次のとおりとする。

- (1) 第3条第1項に掲げる条件を満たし、対象者の活動が他の模範となり推奨できるものであること。
- (2) 対象者の活動が、将来にわたり継続する見込があり、かつ学校・家庭や地域社会への貢献度が高いものであること。
- (3) 対象者の活動期間が、概ね3年以上であること。

(応募様式)

第6条 応募又は推薦をしようとするものは、所定の様式により行うものとする。

(被表彰者の決定)

第7条 被表彰者は、別に定める横浜環境活動賞審査委員会による審査を経て、市長が決定する。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、環境創造局長が定める。

附 則

この要綱は、平成5年7月15日から施行する。

附 則

この要綱は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成17年12月22日から施行する。

附 則

この要綱は、平成22年1月13日から施行する。

附 則

この要綱は、平成23年8月25日から施行する。

横浜環境活動賞審査委員会運営要綱

制 定 平成 24 年 3 月 1 日 環創政第 907 号

(趣旨)

第1条 この要綱は、横浜市附属機関設置条例(平成 23 年 12 月横浜市条例第 49 号)第4条の規定に基づき、横浜環境活動賞審査委員会(以下「委員会」という。)の組織、運営その他必要な事項について定めるものとする。

(委員)

第2条 委員は、次に掲げる者のうちから市長が任命する。

- (1) 学識経験者
 - (2) 企業経営の経験を有する者
- 2 委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 3 委員は、再任されることができる。
- 4 委員の代理は、認めないものとする。

(委員長)

第3条 委員会に委員長1人を置き、委員の互選によりこれを定める。

- 2 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 3 委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、あらかじめ委員長の指名する委員が、その職務を代理する。

(会議)

第4条 委員会の会議は、委員長が招集する。ただし、委員長が互選されておらず、かつ、その職務を代理する者が指名されていないとき、若しくは委員長及びその職務を代理する者にとともに事故があるとき、又は委員長およびその職務を代理する者がともに欠けたときの委員会の会議は、市長が招集する。

- 2 委員長は、委員会の会議の議長とする。
- 3 委員会は、委員の半数以上の出席がなければ会議を開くことができない。
- 4 委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(会議の公開)

第5条 横浜市の保有する情報の公開に関する条例(平成 12 年 2 月横浜市条例第 1 号)第 31 条の規定により、委員会の会議については、一般に公開するものとする。ただし、同条ただし書各号に該当する場合は、この限りでない。

(意見の聴取等)

第6条 委員長は、委員会の会議の運営上必要があると認めるときは、関係者の出席を求め、その意見又は説明を聴くほか、資料の提出その他必要な協力を求めることができる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、環境創造局政策調整部政策課において処理する。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

(施行期日)

1 この要綱は、平成 24 年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この要綱の施行後最初に第2条第1項の規定により任命する委員の任期は、同条第2項の規定にかかわらず、この要綱の施行の日から平成 25 年10 月 31 日までとする。

第21回横浜環境活動賞

応募者概要

○本概要は、各応募者の参考として、提出された応募資料から記載内容を抜粋したものです。

≪抜粋内容≫

○市民の部

「応募者名」、「推薦者名(他薦の場合)」、「活動地域」、「活動の目的やねらい」、
「最近3年間の主な活動」

○企業の部

「応募者名称」、「推薦者名(他薦の場合)」、「所在区」、「事業内容」、
「環境に関する基本理念・自己宣言等」、「成果を上げている取組や先駆的・模範的な取組」。

○児童・生徒・学生の部

「応募者名」、「推薦者名(他薦の場合)」、「活動地域」、「活動の目的やねらい」、
「最近3年間の主な活動」

○審査には、本概要ではなく、各応募者提出の応募用紙及び参考資料一式を用いています。

○各応募者の詳細資料については、閲覧用として会場にご用意してあります。数に限りがあるため、
ゆずりあって閲覧いただきますよう、お願いします。

目 次

市民の部

通し番号	応募者名 (五十音順、敬称略)	掲載ページ
1	泉区農業応援隊	p. 2
2	NPO 法人 海の森・山の森事務局	p. 2
3	特定非営利活動法人 こどもリクラブ	p. 3
4	新横浜町内会	p. 4
5	青少年みどり遊楽舎	p. 5
6	綱島バリケン島プロジェクト	p. 6
7	水辺愛護会 帷子川はふるさとの川の会	p. 7
8	横浜市立太尾小学校 緑化ボランティア	p. 8
9	よこはま緑の推進団体港北区連絡会	p. 9
10	流域連携よこはま	p. 9

企業の部

1	有限会社 アルファグリーン	p. 10
2	生活協同組合ユーコープ	p. 10
3	大成建設株式会社技術センター	p. 11
4	中山学院 サイエンスフロンティアクラス	p. 11
5	株式会社ノーリツ 神奈川支店	p. 12
6	株式会社 ファンケルスマイル (特例子会社)	p. 12
7	プリンス電機株式会社	p. 13
8	三井不動産株式会社横浜支店 三井不動産レジデンシャル横浜支店	p. 13

児童・生徒・学生の部

1	神奈川県立総合高等学校 エコ局	p. 14
2	横浜市立あざみ野中学校	p. 14
3	横浜市立大学環境ボランティア Step Up ↑	p. 15
4	横浜市立矢向小学校 ビオトープ委員会	p. 15
5	横浜市立山下みどり台小学校	p. 16

1 泉区農業応援隊

推薦者名	-	
活動地域	泉区	
活動の目的やねらい	労働力不足に悩む泉区等の農家の農作業支援を通じて、泉区民等が農に親しみながら、農業振興の推進等に寄与していくことを目的とする。	
最近3年間の主な活動	平成22年度	応援農家数：11軒 隊員数：16名 応援回数：337回・人/年（平成22年4月～平成24年3月）
	平成23年度	応援農家数：8軒 隊員数：22名 応援回数：253回・人/年（平成23年4月～平成24年3月）
	平成24年度	応援農家数：20軒 隊員数：32名 応援回数：1674回・人/年（平成24年4月～平成25年3月） （児童養護施設及びグループホームへの農作業応援を含む） ・柿の剪定と柿を使った料理の試食 ・トマトの育成とトマトを使った料理の試食

2 NPO法人 海の森・山の森事務局

推薦者名	-	
活動地域	横浜市全域および神奈川県	
活動の目的やねらい	横浜市および神奈川県の水道水の水源地の水を撮影した映像を材料に、いかに水資源を大切にしていかなければならないかを映像というビジュアルを見せることにより、また同時に音楽の生演奏を聴かせることにより、親子が楽しく自分たちの身の回りの環境について考える場を提供する。そのことによって、私たちの生活の仕方を顧みるだけではなく、水源地の森林の保護、また里海の環境を保護することを啓蒙する。本来は堅い話になりがちな環境についての話を、親しみやすく噛み砕いて話すことにより、子どもからお年寄りまで幅広い世代に対して理解していただき、積極的な環境改善への行動をとっていただく活動目的である。	
最近3年間の主な活動	平成22年度	●ビジュアルトークショー&ビジュアルコンサート平成22年6/1、6平成22年9/18、平成23年2/13
	平成23年度	●ビジュアルコンサート「海の森・山の森」平成23年11/6 ●環境啓発ビジュアルトークショー平成23年12/12 ●NPO設立平成24年1/30
	平成24年度	●写真展「～水の輪廻～ かながわの水物語」平成24年10/9～10/22 ●写真展「われら海の子、みな兄弟」平成24年11/16～11/30 ●写真展「海の森、山の森」平成24年10/20～12/30

3 特定非営利活動法人 こどもりクラブ

推薦者名	-	
活動地域	磯子区及び磯子区を中心とした、近隣の市や区	
活動の目的やねらい	こどもたちの興味やニーズに合った形で環境教育を行うことにより、環境保全活動を進め、将来的に自然環境の保全活動に従事する人材の育成と活動の継承、よりよい環境の継承を目指します	
最近3年間の主な活動	平成22年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ こどもりクラブ独自のイベント開催(10回) ・ 第37回相模原市民桜まつり参加 ・ 第7回ネイチャーフェスティバル参加 ・ 学校でのけん玉教室・木工教室開催(6小学校) ・ 環境教育出前講座(1小学校) ・ エコ活動推進ノートの配付・実施(7小学校) ・ 広報誌「こどもりクラブ通信」の発行
	平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ こどもりクラブ独自のイベント開催(10回) ・ 東日本チャリティーイベント磯子まつり参加 ・ 磯子区青少年健全育成推進大会「磯子ユースフェスタ」参加 ・ いそごこどもエコフェスタ参加 ・ 学校での自然環境講座・木工教室開催(1小学校) ・ 環境教育出前講座(3小学校) ・ エコ活動推進ノートの配付・実施(9小学校) ・ 広報誌「こどもりクラブ通信」の発行
	平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ こどもりクラブ独自のイベント開催(10回) ・ 大人向け木工教室「DIY女子会」の開催 ・ 第39回相模原市民桜まつり参加 ・ 磯子まつり参加 ・ いそごこどもエコフェスタ参加 ・ 環境教育出前講座(2小学校) ・ 学校でのイベント参加・木工教室開催(2小学校) ・ エコ活動推進ノートの配付・実施(8小学校) ・ 広報誌「こどもりクラブ通信」の発行

4 新横浜町内会

推薦者名	港北区区政推進課長 竹下 幸紀	
活動地域	港北区	
活動の目的やねらい	地域住民、特に未来を担う子供たちに環境について考えるきっかけ作り 日々の暮らしの中で、環境変化の影響を結びつけて、知識とともに、心を通して感じてもらう。	
最近3年間の主な活動	平成22年度	町内清掃 花植え ハニーフールプロジェクト 自然観察会 分別作業 ビール作り体験 新横浜たよりの発行
	平成23年度	町内清掃 花植え ハニーフールプロジェクト 自然観察会 分別作業 ビール作り体験 じゃがいも掘り体験 新横浜たよりの発行
	平成24年度	町内清掃 花植え 自然観察会 分別作業 じゃがいも掘り体験 新横浜たよりの発行

5 青少年みどり遊楽舎

推薦者名	-	
活動地域	緑区	
活動の目的やねらい	人と人との世代を超えた交流を通し、植物や動物などの自然に触れさせることで、礼儀正しい、判断力・忍耐力を備えた子供たちを地域で育てる。	
最近3年間の主な活動	平成22年度	1 学校支援 授業手助け：12件 遠足・郊外：12件 クラブ活動：8件 2 工作教室ほか：3件 3 活動報告書
	平成23年度	1 学校支援 授業手助け：9件 遠足・郊外：11件 クラブ活動：9件 2 工作教室ほか：6件 3 活動報告書 みどり学校支援たより
	平成24年度	1 学校支援 授業手助け：10件 遠足・郊外：11件 クラブ活動：12件 2 工作教室ほか：14件 3 活動報告書 みどり学校支援たより

6 綱島バリケン島プロジェクト

推薦者名	-	
活動地域	港北区及び鶴見川流域（町田市・横浜市・川崎市の一部）	
活動の目的やねらい	<p>都市生活を営む私たち港北市民にとって、自然と自分の生活との関係を肌で感じ取することは難しいものです。鶴見川の洪水や水汚染など、防災・環境汚染の大半は、流域に暮らす人々の暮らし方の負荷が原因であることを知る人は多くはありません。流域に暮らす人々との関係を紐解けば環境問題の原点が理解できるはずです。</p> <p>子どもたちは、鶴見川の魚とりで魚たちに出あうと生息する生きものたちの姿に感動し、生きものたちの暮らし環境に関心を持ち、水質の汚染の原因などにたどりつきます。ここで初めて、自分の生活と環境のつながりに関心を持ち始めるのです。港北区を起点とし、自然の単位である鶴見川流域を視野に入れた、子どもを対象とした自然と触れ合う多彩なイベントを実施することで、環境問題の原点を体感し、自分の暮らし地域を見直し、愛する子どもたちを育ててゆきます。</p>	
最近3年間の主な活動	平成22年度	<ul style="list-style-type: none"> ①綱島バリケン島定例活動 クリーンアップ作戦と自然観察会 ②バクの流域こども探検隊（愛称：ライジャケ隊） ③つるみ川わくわく水族館 ④ツルさんバクちゃんのお話し会 ⑤ツルさんバクちゃんのお楽しみワールド ⑥TR ネットのクリーンアップ作戦
	平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> ①綱島バリケン島定例活動 クリーンアップ作戦と自然観察会 ②バクの流域こども探検隊 ③つるみ川わくわく水族館 ④ツルさんバクちゃんのお話し会 ⑤ツルさんバクちゃんのお楽しみワールド ⑥TR ネットのクリーンアップ作戦 ⑦鶴見川の川辺ツルさんバクちゃんの部屋 ⑧教材：鶴見川流域生きものカルタ
	平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ①綱島バリケン島定例活動 クリーンアップ作戦と自然観察会 ②バクの流域こども探検隊 ③つるみ川わくわく水族館 ④ツルさんバクちゃんのお話し会 ⑤ツルさんバクちゃんのお楽しみワールド ⑥TR ネットのクリーンアップ作戦 ⑦鶴見川の川辺ツルさんバクちゃんの部屋 ⑧ヨコハマbディ参加 ⑨教材：生きものパズル ⑩教材：生きものいっぱいステキなまちに大変身

7 水辺愛護会 帷子川はふるさとの川の会

推薦者名	鈴木 貴晶（旭区区政推進課長）	
活動地域	旭区	
活動の目的や ねらい	帷子川で子供たちが安心して遊べる川、川沿いを気持ちよく散策できる帷子川にすること。 帷子川を綺麗にしてふるさとの川と呼べる川にして、帷子川の自然を回復しアユの遡上出来る川にする。	
最近3年間の 主な活動	平成 22 年度	帷子川クリーンアップ作戦
	平成 23 年度	同上
	平成 24 年度	帷子川の自然環境と「帷子川はふるさとの会」活動報告のアルバムを制作 帷子川クリーンアップ作戦

8 横浜市立太尾小学校 緑化ボランティア

推薦者名	横山明（横浜市立太尾小学校）	
活動地域	港北区	
活動の目的やねらい	<p>緑豊かな潤いのある学習環境づくりを促進するため、学校の緑化活動に取り組んでいる。緑化活動を通して、花や緑への愛着心を醸成できるような参加体験型の活動をボランティアと学校とで学習に位置づけている。次世代を担う子どもたちに花や緑の素晴らしさを体験しながら環境教育の充実をねらっている。さらには、地域の身近な花や緑を増やす、次代の緑化活動のリーダー育成につなげる。</p>	
最近3年間の主な活動	平成22年度	<ul style="list-style-type: none"> ・校地内の緑化整備 ・屋上緑化の取組 ・校地内水稲栽培 ・子どもの栽培活動支援 ・全校で取り組む緑化活動・地域清掃支援・協働
	平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> ・校地内の緑化整備 ・屋上緑化の取組 ・校地内水稲栽培 ・子どもの栽培活動支援 ・全校で取り組む緑化活動・地域清掃支援・協働 ・「太尾をつなぐ風」に記事掲載 年3回
	平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ・校地内の緑化整備 ・屋上緑化の取組 ・校地内水稲栽培 ・子どもの栽培活動支援 ・全校で取り組む緑化活動・地域清掃支援・協働 ・「太尾をつなぐ風」に記事掲載 年2回

9 よこはま緑の推進団体港北区連絡会

推薦者名	港北区役所区政推進課長 竹下 幸紀	
活動地域	港北区	
活動の目的やねらい	<p>応募対象プロジェクト「皇帝ダリアを咲かせよう in 港北+1」</p> <p>1 花の少ない晩秋にひとときわ高くピンクの花が咲く皇帝ダリアを植え、道行く人に楽しんでもらう。</p> <p>2 「港北区が日本一」をスローガンとして、推進団体が共通の品種を育てることを通して推進団体間の交流を深め、推進団体の活性化につなげる。</p> <p>3 同時に主に宿根草の交換・配布を行い、みどりアップにもつなげる（24年から）</p>	
最近3年間の主な活動	平成22年度	<p>2010 皇帝ダリアを咲かせよう in 港北</p> <p>6月20日 キックオフ式</p> <p>11月27日 お花見ツアー</p>
	平成23年度	<p>2011 皇帝ダリアを咲かせよう in 港北</p> <p>6月26日 キックオフ式</p> <p>11月26日 見学ツアー</p>
	平成24年度	<p>2011 皇帝ダリアを咲かせよう in 港北</p> <p>6月26日 キックオフ式</p> <p>11月26日 見学ツアー</p>

10 流域連携よこはま

推薦者名	-	
活動地域	緑区	
活動の目的やねらい	<p>河川の固有の集水域である「流域」ごとの《水循環系の健全化》を目指して、横浜の水環境（雨、湧水、池、河川、湿地、海等）と暮らしとのかかわりを回復・創出し、地球温暖化に適應する水環境都市・ヨコハマを再生することを目的としている。</p>	
最近3年間の主な活動	平成22年度	<p>① 参加団体の地域での定例活動の支援</p> <p>② 新たな流域連携活動の方針の検討（コアメンバーによる検討段階）</p> <p>③ 「まいたエコサロン」の会に参画</p>
	平成23年度	<p>① 参加団体の地域での定例活動の支援</p> <p>② 新たな流域連携活動の方針の検討</p> <p>③ プロジェクトWET エデュケーター講習会、水辺の指導者育成講座</p> <p>④ 水辺の活動への機材貸し出し</p> <p>⑤ 「まいたエコサロン」の会に参画</p> <p>⑥ HSBC との連携に関する調整</p>
	平成24年度	<p>① 子どもの水辺安全講座</p> <p>② E ボート体験試乗会</p> <p>③ 水辺の活動への機材貸し出し</p> <p>④ HSBC Water Programme-River Basins in Yokohama</p>

1 有限会社 アルファグリーン

推薦者名	-
所在区	中区
事業内容	伐採木（植物発生材）を100%使用した法面緑化工法（NETIS:CG-020023-V 設計比較対象技術）の提供、ヤギによる既存緑地の除草工とシバ型草地維持管理システム（特許 1954657）の提供ほか
環境に関する 基本理念・ 自己宣言等	Back to nature solutions. アルファグリーンは、自然の恵みを活かした新たなまちづくりの手法を提案します。
成果を上げている 取組や先駆的・ 模範的な取組	レンタルによるヤギ除草

2 生活協同組合ユーコープ

推薦者名	-
所在区	港北区
事業内容	神奈川県・静岡県・山梨県にまたがり活動する生活協同組合です。2013年3月21日にコープかながわ・コープしずおか・市民生協やまなしが組織合同し、生活協同組合ユーコープが設立されました。コープかながわ・コープしずおか・市民生協やまなしは、これまで20年以上にわたり、全国の生協に先駆けて共同連帯のもとで事業を進めていましたが、2008年の生協法改正により、生協は県域を越えた事業と活動が認められ、組合員のくらしと地域社会へいっそう貢献していくために、組合員数180万人、供給高1,900億円の、神奈川・静岡・山梨3県をエリアとする生協「生活協同組合ユーコープ」として船出しました。商品の提供や、宅配事業「おうちCO-OP」・コープの夕食宅配「マイシィ」・店舗事業・保障事業・福祉事業・葬祭事業などのサービスを通じて、誰もが安心して笑顔で暮らせる地域づくりに貢献し、また、組合員とともに、食の安心・平和・環境・福祉・子育てなどさまざまなテーマで組合員活動も行っています。
環境に関する 基本理念・ 自己宣言等	基本理念：「人—社会—自然」の調和ある平和な社会の実現に貢献する 2013年度経営基本方針：「コープがあつてよかった。これからもずっとコープで！」 とさせていただける事業と活動を実践しよう。①組合員の立場で実践できる人と組織をつくります。②組合員の期待に事業で応え、事業構造の改革をすすめます。③社会的役割を發揮します。
成果を上げている 取組や先駆的・ 模範的な取組	●先進性・独自性 ●継続性・発展性

3 大成建設株式会社技術センター

推薦者名	-
所在区	戸塚区
事業内容	<p>■自主研究 建設技術の核となる基礎研究を主体とした研究活動</p> <p>■受託研究（社内） 施工・設計・営業などの社内各部門から技術開発の要請を受けて実施する研究活動</p> <p>■受託研究（社外） 他企業・団体・官庁などから委託されて実施する研究活動</p>
環境に関する 基本理念・ 自己宣言等	<p>【グループ理念】 人がいきいきとする環境を創造する</p> <p>【グループ理念 副文】 わたしたちは、自然との調和の中で、安全・安心で魅力ある空間と豊かな価値を生み出し、 次世代のための夢と希望に溢れた地球社会づくりに取り組んでいきます。 大成建設グループは、上記のグループ理念のもと、環境配慮型社会の形成を目指し「環境方針」（資料1 参照）を制定しています。目標や施策を定めて活動し、「環境の保全と創造」に努め「先駆的な環境事業」を推進していくことを基本的な行動方針としています。そのために、毎年度「環境経営目標（大成アジェンダ）」（資料2参照）を設定し、目標の設定と達成度のチェックを行っています。 また、「大成建設生物多様性宣言」（資料3 参照）を作成するとともに、2012 年には環境省の「エコ・ファースト制度」（資料4 参照）の認定を取得しています。</p>
成果を上げている 取組や先駆的・ 模範的な取組	<p>技術センター内の緑地整備による生き物ネットワークの形成の試み 横浜スマート・シティ・プロジェクト（YSCP）への参画</p>

4 中山学院サイエンスフロンティアクラス

推薦者名	-
所在区	鶴見区
事業内容	<p>① 学習塾携帯による教育授業</p> <p>② YES 拠点として、エネルギー問題の口座開設や研究発表</p> <p>③ 環境に関係する科学実験や、ポスターセッションによる出前授業</p>
環境に関する 基本理念・ 自己宣言等	<p>「ブループラネットの実現」地球環境問題の解決のためには、まず私たちの暮らしが地球環境とどのように関係しているのかを知ることが必要です。そのためには単なる知識の修得にとどまらず環境教育を行うことが必要であると考えます。その基礎となるのが自然や人に対する思いやりの心を育むことです。多くの方にその場と機会を提供したいと思っています。</p>
成果を上げている 取組や先駆的・ 模範的な取組	<p>エネルギーシフトについての研究とその広報</p>

5 株式会社ノーリツ 神奈川支店

推薦者名	-
所在区	神奈川区
事業内容	ガス・石油給湯器、太陽光発電、システムバス、システムキッチン、ガスコンロなどの住宅設備機器の製造及び販売
環境に関する 基本理念・ 自己宣言等	<ul style="list-style-type: none"> ・環境理念：私たちは良き企業市民として循環型社会の実現を目指し、あらゆる企業活動において地球環境保全に積極的に取り組みます。 ・環境スローガン：きれいな地球を次の世代へ ・グループビジョン：新しい幸せを、わかすこと。 ・ブランドメッセージ：エコ・リラ・キレイ <p>地球にやさしい暮らしをあたりまえにする・・・エコ、住まいをまるごと居心地よくする・・・リラ、心身ともに美しく、健やかにする・・・キレイ</p>
成果を上げている 取組や先駆的・ 模範的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ガス給湯器（リターナブル包装）

6 株式会社 ファンケルスマイル（特例子会社）

応募者名	
推薦者名	-
所在区	栄区
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・化粧品包装・化粧品サンプル結束・コンテナ清掃・名刺作成印刷・店舗販売業務 ・廃棄物のシュレッダー処理 ・地域清掃 ・菜園運営 ・本社喫茶コーナー補助業務 ・社内メール便の受配等
環境に関する 基本理念・ 自己宣言等	<p>（株）ファンケルスマイルは、知的障がいを持った方々が社員として働く会社です。障がい者を社会的弱者として守るのではなく、一人の社会人として「自立」できるように支援する事を念頭に置いた障がい者雇用を推進します。</p> <p>私達は、ファンケルグループの経営理念を受け、企業活動のあらゆる面において、「自然のめぐみ」に感謝して、環境・生物多様性の保全に貢献することを目指します。</p>
成果を上げている 取組や先駆的・ 模範的な取組	<p>社内の資源ゴミを一手に引き受けリサイクルを手掛けるファンケルスマイル障がい者の自立と地域の自然保護を目指して特例子会社だからできる社会貢献</p>

7 プリンズ電機株式会社

推薦者名	-
所在区	鶴見区
事業内容	施設・業務用照明の開発・製造・販売 LED 照明、T5 スリム蛍光灯、T6 スリム蛍光灯、冷凍・冷蔵ショーケース用蛍光灯、演色性蛍光灯、蛍光ランプ全般の開発・製造販売。照明器具、電子・電磁安定器、ソケット・部品等の開発及び販売
環境に関する基本理念・自己宣言等	<p>基本理念：環境方針（平成 13 年 4 月制定 ～ 直近：平成 23 年 6 月改定） 添付資料 A：プリンズ電機環境方針</p> <p>自己宣言：スリムエコ® 宣言「スリムにすれば環境にやさしい」（平成 20 年 7 月） 添付資料 B：カタログ（付箋①）</p> <p>■スリムエコ® 製品 で ダイエット Co2↓ ※左記 3 つの項目に対し、各 3 つ 計 9 つの施策をコミットメントしている</p> <p>■スリムエコ® 活動 で ダイエット Co2↓ 「スリムエコ®」は、照明関連 及び セミナー企画で商標登録済</p> <p>■スリムエコ® 企業 で ダイエット Co2↓ カatalog・ホームページ・パブリシティ等で開示</p>
成果を上げている取組や先駆的・模範的な取組	<p>方針管理 & スリムエコ宣言</p> <p>■スリムエコ製品</p> <p>■スリムエコ活動</p> <p>■スリムエコ企業</p> <p>●廃棄物削減、リユース・リサイクル</p> <p>消費電力 省エネ</p>

8 三井不動産株式会社 横浜支店

三井不動産レジデンシャル株式会社 横浜支店

推薦者名	-
所在区	西区
事業内容	オフィスビル・商業施設・住宅等の賃貸事業（三井不動産株式会社 横浜支店） 戸建・中高層住宅分譲事業および販売代理事業（三井不動産レジデンシャル株式会社 横浜支店）
環境に関する基本理念・自己宣言等	<p>1. 地球への優しさ」と「人への優しさ」の双方を実現</p> <p>2. コミュニティと連携・協力した先駆的な街づくりを推進</p> <p>3. 未来をリードするスマートシティを国内外で展開 （三井不動産グループ「グループ環境方針」より）</p>
成果を上げている取組や先駆的・模範的な取組	経産省「次世代エネルギー・社会システム実証事業」同時採択 生物多様性保全の計画実施

1 神奈川県立総合高等学校 エコ局

推薦者名	神奈川県立総合高等学校 エコ局担当 由井 史子	
活動地域	学校内	
活動の目的や ねらい	校内の環境保護に対する意識の向上と啓蒙活動	
最近3年間の 主な活動	平成22年度	「第9回環境シンポジウム」の企画・運営 文化祭での企画 エコキャップの回収 省エネの呼び掛け エコ会の開催
	平成23年度	「第10回環境シンポジウム」の企画・運営 文化祭での企画 エコキャップの回収 省エネの呼び掛け エコ会の開催
	平成24年度	「第11回環境シンポジウム」の企画・運営 文化祭での企画 エコキャップの回収 省エネの呼び掛け 校内の植物の水やり エコ会の開催

2 横浜市立あざみ野中学校

推薦者名	-	
活動地域	学校外	
活動の目的や ねらい	花植えボランティア活動に参加することを通して、地域の環境に関心を持ち、自ら進んで地域や環境活動に取り組む資質を育むようにする。	
最近3年間の 主な活動	平成22年度	平成22年6月19日 鶴見川 市ヶ尾水辺の広場 花植え活動 平成22年11月20日 鶴見川 市ヶ尾水辺の広場 花植え活動 平成22年1月31日 花植えの記録発行（コスモス会）
	平成23年度	平成23年6月18日 鶴見川 市ヶ尾水辺の広場 花植え活動 平成23年11月19日 鶴見川 市ヶ尾水辺の広場 花植え活動 平成23年1月15日 花植えの記録発行（コスモス会）
	平成24年度	平成24年6月19日 鶴見川 市ヶ尾水辺の広場 花植え活動 平成24年11月24日 鶴見川 市ヶ尾水辺の広場 花植え活動 平成25年3月26日 花植えの記録発行（コスモス会）

3 横浜市立大学環境ボランティア Step Up ↑

推薦者名	-	
活動地域	学校内、外	
活動の目的やねらい	学内での学生の環境に対する意識の向上・地域の活性化 活動理念【学生が出来る身近な環境活動を考え、行動する】	
最近3年間の主な活動	平成22年度	学園祭におけるゴミ分別指導・リユースカップ管理（通年イベントなので以下除きます） ビーチクリーン（通年行事） リサイクル施設見学 エココン、ハマコンへの参加（毎年参加しているので以下除きます） その他清掃活動
	平成23年度	第一回 Eco Change! ヨコイチ!（エコヨコ） 工場見学（サントリー） 生鮮エコ朝市 その他清掃活動
	平成24年度	第二回 Eco Change! ヨコイチ! 「寺子屋塾」の開催 ヨコハマ大学祭りへの参加

4 横浜市立矢向小学校 ビオトープ委員会

推薦者名	-	
活動地域	学校内	
活動の目的やねらい	・ホタル育成を通じ、児童が自然に親しむ機会を増やすとともに自然を大切にする心情を育てる。 ・ホタル観賞会を通じ児童が主体的に自分の住む地域とふれあいかかわり合いを深める。	
最近3年間の主な活動	平成22年度	・ホタル育成活動 ・ホタル幼虫放流 ・ホタル観賞会へ向けてのポスター作り、ホタルについての新聞づくり ・ホタル観賞会 ・ホタルスタンプラリー
	平成23年度	同上
	平成24年度	同上 ビオトープ集会 スタンプラリー（○×クイズ）

5 横浜市立山下みどり台小学校

推薦者名	横浜市教育委員会指導企画課長 上條 慶昭	
活動地域	学校内、外	
活動の目的やねらい	身近な環境の中での体験的な学習を通して、環境の大切さを理解し、地域とともに、よりよい環境づくりをしていこうとする児童を育てる。	
最近3年間の主な活動	平成 22 年度	<ul style="list-style-type: none"> ○「ぐんぐんそだて!～種から収穫まで」 ○「いきもの広場(ビオトープ)を調べて発信しよう」 ○「おいしいみどり台米をたくさんつくろう大作戦」 ○「赤米プロジェクト! 先人の知恵と文化を取り入れて卒業をお祝いしよう」 ○「〇〇さんの梨づくり」 ○北八朔公園清掃(全校)
	平成 23 年度	<ul style="list-style-type: none"> ○「自然があふれる、みんながつながる北八朔公園」 ○北八朔公園「竹せいさくじょ」 ○「ぼくたち、わたしたち、浜なし大使」 ○「横浜メダカを守れ」 ○「ECO だから ECO 宝」 ○「〇〇さんの梨づくり」 ○北八朔公園清掃(全校)
	平成 24 年度	<ul style="list-style-type: none"> ○「YM ホタル育成プロジェクト」 ○「バンブーチャレンジ!」 ○「チェンジでゲー、みどりダイズ」 ○「茶の道は人の道」 ○「ぐんぐんそだて、スマイルをそだてよう」 ○「うまい米プロジェクト」 ○「はま菜ちゃんプロジェクト」 ○「〇〇さんの梨づくり」 ○北八朔公園清掃(全校)上

審査基準及び、応募用紙における参照例

「応募用紙における確認欄」はあくまで主な参照例です。応募用紙のその他の欄の記載内容や、別添参考資料も参照してください。

第 21 回横浜環境活動賞審査基準 **市民の部**

1 審査基準

評価項目	評価の視点	配点	応募用紙における確認欄(参照例)
(1) 活動の継続性	<p>①過去の実績 活動期間が、概ね3年以上であるか。</p> <p>②将来性 活動が将来にわたり継続する見込みがあるか。</p>	5点	<p>①過去の実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 応募者概要 中の「活動開始年」 ・ 2 最近3年間の主な活動 <p>②将来性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6 今後の活動方針
(2) 地域への貢献度	<p>①地域住民の参加と自主性 地域住民の参加を得られているか。特に、課題意識を持つ地域住民などによって自主的に進めたり、独自に組織されているか。</p>	5点	<p>地域住民の参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3 地域との関わり ・ 4 団体の発足経緯／活動を始めたきっかけ、動機 <p>自主性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3 地域との関わり
	<p>②他団体、学校、事業者、行政等との連携 活動が、他の市民団体、学校、事業者、行政等と連携して行われているか。</p>	5点	3 地域との関わり
(3) 活動の特色	<p>①先見性、広範性 横浜において新たな視点からの活動であるか。また、幅広い視野を持って活動を行っているか。 ※全国的に実施例があっても、横浜において新たな活動であった場合には評価対象とする。また、活動が幅広い分野に影響を及ぼすものについても評価対象とする。</p>	5点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 応募者概要 中の「活動の目的やねらい」 ・ 4 団体の発足経緯／活動を始めたきっかけ、動機
	<p>②活動の成果、模範性 活動の成果が具体的に認められるか。また、他の模範となり、多くの人取り組みやすい活動であるか。</p>	5点	<p>活動の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2 最近3年間の主な活動 ・ 5 今までの活動(取組)や成果 <p>模範性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2 最近3年間の主な活動

2 評価方法

- (1) 「評価の視点」(1)～(3)について、それぞれ点数化した結果をもとに評価を行い、被表彰者を選定する。
- (2) 原則として25点満点中平均点15点以上を実践賞の対象とし、最高得点を大賞の候補として審査する。
- (3) 原則として、大賞は1者とする。

第 21 回横浜環境活動賞審査基準 企業の部

1 審査基準

評価項目	評価の視点	配点	応募用紙における確認欄(参照例)
(1) 取組姿勢、実績	①取組姿勢 事業所全体として前向きに取り組んでいるか。	5 点	2 環境に対する企業理念の設定、管理体制
	②過去の実績 原則として3年以上の実績があり、今後の継続性も見込める活動であるか。実績についての点検や改善、公表がされているか。	5 点	・ 1 応募者概要 中の「環境への取組を開始した年月」 ・ 2 環境に対する企業理念の設定、管理体制
(2) 環境保全・再生・創造への効果	①効果 環境保全・再生・創造に対する直接、間接的な効果が認められるか。	5 点	・ 3 環境に配慮した製品や技術開発、サービスの提供・導入 ・ 5 成果を上げている取組や先駆的・模範的な取組・事業
(3) 活動の特色	①地域社会等との連携、支援、参加 地域住民などと連携しながら、環境活動に積極的に取り組んでいるか。	5 点	4 事業活動において環境に配慮している取組、社会貢献活動
(4) 先駆性、模範性	①先駆性 横浜において先駆的な環境配慮型製品の開発や導入などを行っているか。 ※全国的に実施例があっても、横浜において新たな活動であった場合には評価対象とする。 ②模範性 他企業の模範となる活動であるか。(地域との連携等)	5 点	5 成果を上げている取組や先駆的・模範的な取組・事業

2 評価方法

- (1) 「評価の視点」について、それぞれ点数化した結果をもとに評価を行い、被表彰者を選定する。なお、候補者が中小企業である場合には、その点を考慮する（大企業では例が見られるが、中小企業では先駆的等）。
- (2) 原則として 25 点満点中平均点 15 点以上を実践賞の対象とし、最高得点を大賞の候補として審査する。
- (3) 原則として、大賞は 1 者とする。

第 21 回横浜環境活動賞審査基準 児童・生徒・学生の部

1 児童・生徒(中学生以下)の審査基準

評価項目	評価の視点	配点	応募用紙における確認欄(参照例)
(1) 活動の継続性	①過去の実績 ・活動期間が、概ね3年以上であるか。 ・月1回程度定期的に、または、夏休みなど集中的に活動が行われているか。	5点	<u>①過去の実績(活動期間)</u> ・1 応募者概要 中の「活動開始年」 ・2 最近3年間の主な活動 <u>②将来性</u> ・6 今後の活動方針
	②将来性 ・活動が将来にわたり継続する見込みがあるか。 ・学校や地域、OB等によりサポートされているか。		
(2) 学内・地域への貢献度	①学内への貢献度 成果発表等により他の生徒、家庭へ活動の輪が広がっているか。	5点	・3 地域との関わり
	②地域への貢献度 ・地域の活動を進め、地域住民や他団体・組織等と連携を深めているか。 ・他の活動グループとの交流を進めているか。	5点	
(3) 活動の特色	①自主性、独自性 ・児童・生徒が主体となって活動が行われているか。 ・横浜において新たな視点からの活動であるか。 また、幅広い視野を持って活動を行っているか。 ※全国的に実施例があっても、横浜において新たな活動であった場合には評価対象とする。	5点	<u>自主性</u> ・5 今までの活動(取組)や成果 <u>独自性</u> ・4 団体の発足経緯、活動を始めたきっかけ
	②活動の成果、模範性 活動の成果が具体的に認められるか。他の模範となり、多くの人を取り組みやすい活動であるか。	5点	<u>活動の成果</u> ・2 最近3年間の主な活動 ・5 今までの活動(取組)や成果 <u>模範性</u> ・2 最近3年間の主な活動

評価方法は次ページに記載

2 学生(高校・大学生)の審査基準

評価項目	評価の視点	配点	応募用紙における確認欄(参照例)
(1) 活動の継続性	<p>①過去の実績 活動期間が、概ね3年以上であるか。</p> <p>②将来性 活動が将来にわたり継続する見込みがあるか。</p>	5点	<p>①過去の実績(活動期間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 応募者概要 中の「活動開始年」 ・ 2 最近3年間の主な活動 <p>②将来性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6 今後の活動方針
(2) 学内・地域への貢献度	<p>①学内への貢献度 イベント開催、成果発表等により他の学生へ活動の輪が広がっているか。</p>	5点	3 地域との関わり
	<p>②地域への貢献度 地域の活動を進め、地域住民や他団体・組織等の参加や連携を図っているか。</p>	5点	
(3) 活動の特色	<p>①自主性、先見性、広範性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学生が主体となって活動が行われているか。 ・ 横浜において新たな視点からの活動であるか。また、幅広い視野を持って活動を行っているか。 <p>※全国的に実施例があっても、横浜において新たな活動であった場合には評価対象とする。また、活動が幅広い分野に影響を及ぼすものについても評価対象とする。</p>	5点	<p><u>自主性</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5 今までの活動(取組)や成果 <p><u>先見性</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 応募者概要 中の「活動の目的やねらい」 <p><u>広範性</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2 最近3年間の主な活動 ・ 5 今までの活動(取組)や成果
	<p>②活動の成果、模範性 活動の成果が具体的に認められるか。他の模範となり、多くの人が取り組みやすい活動であるか。</p>	5点	<p><u>活動の成果</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2 最近3年間の主な活動 ・ 5 今までの活動(取組)や成果 <p><u>模範性</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2 最近3年間の主な活動

3 評価方法

- (1) 「評価の視点」(1)～(3)について、それぞれ点数化した結果をもとに評価を行い、被表彰者を選定する。
- (2) 原則として25点満点中平均点15点以上を実践賞の対象とし、最高得点を大賞の候補として審査する。
- (3) 原則として、大賞は1者とする。

第 21 回横浜環境活動賞審査基準 **生物多様性特別賞**

1 特別賞について

特別賞は、全応募者の中から、生物多様性の保全・再生・創造に特に貢献していると評価される者を表彰するものである。大賞、実践賞との重複受賞も可能とする。

2 候補者の選出方法

- (1) 各委員が、評価基準にしたがって全応募者から 1 団体を推薦する。
- (2) 得票があった団体の中から候補者を選定する。

3 評価基準

- (1) 日々の活動やイベントなどを通じ、「生物多様性」を一般に、特に子どもたちに対し、広く伝えることに貢献しているか。
- (2) 生き物がつながり、生息できる環境づくりを行っているか。
- (3) (1)、(2)を満たし、他の模範となり多くの人が取り組みやすい活動であるなど、特に優れたものであるか。

【活動例】

- ・ 子どもたちを対象とした、生物多様性をテーマとした環境学習、自然観察会、その他イベントの開催等
- ・ 団体内における生物多様性を伝えるための人材育成
- ・ 希少野生動植物の保護
- ・ 団体管理の敷地内緑化や植樹また、緑化や植樹活動への参加
- ・ 敷地内のビオトープの整備・管理・活用
- ・ 生物多様性に配慮した里山管理

等

第21回横浜環境活動賞事前審査結果(生物多様性特別賞)

資料6

団体名	推薦理由
水辺愛護会 帷子川はふるさとの川の会	<p>川を中心とした清掃活動により、地域の自然を根本から改良しようとするだけに留まらず、小学生を主な対象に自然に触れる機会を増やすことができている活動は非常に意義のあるものと捉えられる。また、絶滅危惧種であるギバチの発見やアユの遡上の手助けをするなど、地域の生物多様性の発見と回復に役立つ活動は他の応募者と比較して抜きんできていると考えられる。以上のような理由から帷子川はふるさとに会を生物多様性特別賞に推薦する。</p>
綱島バリケン島プロジェクト	<p>毎月1回、20年間という長期間に渡り、定期的に川のクリーンアップおよび生き物観察を行ってきた地道な活動の継続性を評価。そうした中で、地域からの要望によって、鶴見川の水族館に発展し、また、自然体験と本の読み聞かせの場や、生き物カルタ、生き物パズルなど、子ども達に実感ある形で生物多様性を伝えている点などにも、活動の広範性、模範生が認められる。</p>
大成建設株式会社技術センター	<p>多様な取り組みのなかでも、生物の生息環境に配慮した緑化計画手法の開発をしている。 たとえば、鳥類約40種類とその食餌木(およそ200種)を記すデータベースに基づいて、選定した鳥類が好む樹種を落葉広葉樹を中心にリストアップし、できる限り自然に近い景観となるように樹木を植え付け、その成果を測定したところ、2007年冬に実施した鳥類調査において、2006年冬には観察されなかったアオジ、シメの飛来が観察された。また、営巣が確認されていた小型の猛禽類のツミが、工事後にも営巣していることが観察され、工事によって生物の生息環境が損なわれないなど、周辺に点在する生物の生息環境を導入し、生き物のネットワークを形成する努力をしている点が生物多様性大賞として評価できる点である。 また、自然由来の吸着材を用いた水質保全システムの開発と展開、ゼロ・エネルギー・ビル(ZEB)実現への取組、森林植生アドバイザーとしての活動など、さまざまな側面から生物多様性の活動に力を入れている点も評価できる。</p>
横浜市立山下みどり台小学校	<p>◆児童主体というより、学校(教職員)が教育の一環として取り組んでいる活動ではあるようだが、近隣の自然資源等も活用し、生物多様性を生徒が実感できる取り組みではあると思われる。 特別賞受賞団体としては、少し物足りなさを感じるが、今後の生徒が自ら問題意識をもち、自ら行動することを学校がサポートすることも期待して推薦したい。</p> <p>◆最近3年間の主な活動を通して、身近な環境の中で体験的な学習を通じ、環境の大切さを理解し、地域と共に良い環境作りで児童の養育を図ることに努力している。今後を期待する。</p> <p>◆ピオトープでの学習や古代米の栽培、農業の体験など、幅広いフィールドで生き物の大切さを学ぶ活動を展開してきている。</p>

第 21 回横浜環境活動賞 今後の流れについて

(受賞候補者の方へのお願い事項)

日 程	内 容
4 月中旬 (予定)	受賞者の正式決定 〔事例集・パネル原稿の執筆について依頼 しますので、ご対応をお願いします〕
6 月 6 日 (金)	表彰式 ※表彰式会場にて事例集の配付、パネルの 展示を行います。
6 月 12 日 (木)～6 月 18 日 (水)	クロスパティオ (みなとみらい) にて パネル展示
6 月 14 日 (土)	環境行動フェスタ 〔各部門「大賞」及び、生物多様性特別賞の 受賞者の方は、講演をお願いいたします〕

※詳細内容については後日、受賞決定通知と合わせ正式に依頼します。

※第13回までの名称は「横浜環境保全活動賞」

第1回・5年度	市民	横浜にとんぼを育てる会 帷子小ウオッチングクラブ モルフォ生物同好会 横浜・ゴミを考える連絡会 横浜自然観察の森友の会 大岡川の再生をすすめる会	第7回・11年度	市民	あおぼく・川を楽しむ会 アゲイン瀬谷 和泉川源流を楽しむ会 港南台自然観察クラブ・クロロ ソフトエネルギープロジェクト
	企業	日本電気株式会社横浜事業場 東洋製罐株式会社横浜工場 株式会社東芝生産技術研究所 生活協同組合コープかながわ		企業	石川島播磨重工業株式会社横浜事業所 株式会社東芝横浜事業所 株式会社フジタ横浜支店 武蔵工業大学環境情報学部
第2回・6年度	市民	海をつくる会 鴨池公園愛護会 けやきが丘森林愛護会 横浜市牛乳パックの再利用をすすめる連絡会 寺家ふるさと村体験農業振興組合 フリーマーケット「緑区民ふれあい市場」緑実施世話人会	第8回・12年度	市民	大岡川 Fun Club 市沢・仏向の谷戸に親しむ会 みどりの学校 横浜自然観察の森友の会 雑木林ファンクラブ 早淵川をかなでる会 上山ふれあいの樹林愛護会
	企業	相鉄ローゼン株式会社 東京電力株式会社神奈川支店鶴見支社 日本鋼管株式会社鶴見製作所		企業	神奈川機器工業株式会社 本社・工場 東京ガス株式会社 環境エネルギー館 東京ガス株式会社 根岸工場 東京電力株式会社 西火力事業所横浜火力発電所 日立湘南電子株式会社 本社工場 三菱重工業株式会社 横浜製作所
第3回・7年度	市民	三ツ沢せせらぎ緑道のほたるを育てる会 自然に学ぶ会 ファイバースイクルネットワーク 中田ふれあいの樹林愛護会 峰岡町二丁目自治会	第9回・13年度	市民	荒井沢市民の森愛護会 かなざわ森沢山の会 宮沢の森愛護会 特定非営利活動法人 よこはま水辺環境研究会
	企業	大成建設株式会社横浜支店 ムラタ計測器サービス株式会社 株式会社イトーヨーカ堂(上永谷店他8店) 生活クラブ生活協同組合・神奈川		企業	株式会社CRC総合研究所データセンター事業部 川本工業株式会社 株式会社 サカクラ 株式会社 リコー中央研究所 株式会社 ニコン横浜製作所
第4回・8年度	市民	戸塚ホテル研究会 恩田の谷戸ファンクラブ ラブリバートリップ大岡川 並木谷堆肥利用組合 ふるさと侍従川に親しむ会	第10回・14年度	市民	野庭・馬洗川自然愛護会 みどり・川と風の会
	企業	株式会社エフピコ横浜営業所 麒麟ビール株式会社横浜工場 日本石油精製株式会社根岸製油所 みなとみらい21リサイクル推進協議会		企業	日本発条株式会社 横浜事業所 東京ガス株式会社 扇島工場 株式会社 ダイイチ 済生会横浜市南部病院
第5回・9年度	市民	エコ・ライフいずみ リフォーム横浜会 泉の森ふれあい樹林愛護会 白幡緑の会 横浜市永取沢小学校PTA牛乳パック・リサイクルの会 港北区牛乳パック回収グループ	第11回・15年度	市民	EM花の会 神奈川森林エネルギー工房 北八朔公園愛護会 港北ニュータウン緑の会 横浜植物会
	企業	株式会社日立製作所横浜地区 株式会社オオスミ ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル 三菱地所株式会社横浜事業部(横浜ランドマークタワー)		企業	株式会社 竹中工務店横浜支店 工藤建設株式会社 株式会社 ユニキャット 株式会社 アベックスディーピーエフシステム 横浜市資源リサイクル事業協同組合 綱島商店街連合会
第6回・10年度	市民	鶴見川を再発見する会 HAB21イルカ研究会 松の川遊歩道(緑道)の会 白根竹の森運営委員会 港北くらしの研究会 相沢川を考える会	第12回・16年度	市民	和泉の森を育む会 梅田川水辺の楽校協議会 桜ヶ丘・森の仲間たち 野島自然観察探見隊
	企業	株式会社テルム本社 株式会社熊谷組横浜支店 株式会社日立製作所情報通信事業部 横浜市廃冷蔵庫フロン回収・処理推進協議会 松下通信工業株式会社(佐江戸工場・綱島工場)		企業	東京電力株式会社 西火力事業所 南横浜火力発電所 三菱電機ビルテクノサービス株式会社 横浜支社 日本ビクター株式会社 本社・横浜工場 タカナン乳業株式会社 横浜工場 日産自動車株式会社 横浜工場

第13回・17年度	市民	和泉川東山の水辺愛護会 瀬谷市民の森愛護会 新治市民の森愛護会 神奈川県環境学習リーダー・エネルギー会 横浜メダカの会
	企業	東京電力(株)神奈川支店 (株)京急百貨店 フェリス学院大学 千代田化工建設(株)
第14回・18年度	市民	いかだで遊ぼう谷本川実行委員会 和泉川中央水辺愛護会 カマリヤン倶楽部 上矢部まちづくりの会 亀谷戸せせらぎ水辺愛護会 鴨居原市民の森愛護会 ナウカの会 平潟湾クリーンアップキャンペーン実行委員会 富士見水辺愛護会 保土ヶ谷フリーマーケット実行委員会 本郷ふじやま公園運営委員会 特定非営利活動法人 ヨコハマ倉造空間 特定非営利活動法人 楽竹会
	企業	東京ガス株式会社 神奈川支店 若築建設株式会社 横浜支店
	児童・生徒・学生	上矢部まちづくり子ども実行委員会 ガールスカウト神奈川県第8団 関東学院大学・環境サークルHEP(ヘップ) 横浜市立大道小学校・ふるさとの水辺クラブ 横浜市立西柴小学校・西柴アマモ隊 武相中学高等学校・生徒会 横浜市立山元小学校・農園委員会
第15回・19年度	市民	磯子区環境を考える会 長津田小学校野草園ボランティア 堀割川魅力づくり実行委員会 もえぎ野ふれあいの樹林愛護会 横浜野菜推進委員会
	企業	国立大学法人横浜国立大学 パナソニック・モバイルコミュニケーションズ(株)佐江戸事業所
第16回・20年度	市民	下永谷小学校卒業生クラブ 鶴見大学生物部 横浜国立大学附属横浜中学校ブルーアースサミット
	企業	金沢八景—東京湾アマモ場再生会議 上郷森の会 栄さとやまもりの会 大曾根の自然を楽しむ会 同愛会リプラス 獅子ヶ谷緑地保全会 関ヶ谷市民の森愛護会
	企業	前田建設工業株式会社 横浜支店 有限会社 マルニ商店
	児童・生徒・学生	横浜市立本郷中学校科学部 戸塚まつり準備会 金沢八景クラブ

第17回・21年度	市民	新井町公園愛護会 飯田雀のお宿 まゆの会 NPO法人 Waveよこはま こどものためのオープンハウス 日本の竹ファンクラブ 南瀬谷中学校PTA 洋光台まちづくり協議会 青少年夢環境部会
	企業	株式会社岡村製作所 企画本部情報システム部
第18回・22年度	児童・生徒・学生	横浜市立浦島丘中学校 生徒会 神奈川県立荏田高等学校(1学年) 神奈川県立新羽高等学校 生徒会 環境整備委員会 横浜祭運営委員会(Y. F. A)
	市民	「大賞」 市沢・仏向の谷戸に親しむ会 「実践賞」 北八朔公園愛護会 いたち川と親しむ会 瀬上の森パートナーシップ(SMP) 鴨居駅周辺まちづくり研究会 鶴見川下流ネットワーク・鶴見 都田江川水辺愛護会 若葉台連合自治会 瀬谷環境ネット 奈良川源流域を守る会 福田誠一郎
第19回・23年度	企業	「大賞」 株式会社大川印刷 「実践賞」 横浜消火器株式会社 株式会社 横浜フリースポーツクラブ 岩井の胡麻油株式会社 スーパーホテル横浜・関内 旭硝子株式会社 中央研究所 株式会社 野毛印刷社 東京電力株式会社 横浜支社
	児童・生徒・学生	「大賞」 横浜市立汐見台中学校・環境美化委員会と全校生徒 「実践賞」 横浜市立朝比奈小学校・わくわくホテル池守り隊
第19回・23年度	市民	「大賞」 特定非営利活動法人 鶴見川流域ネットワーク 「実践賞」 海をつくる会 鶴見川舟運復活プロジェクト 松の川遊歩道(緑道)の会 めっちゃどろクラブ
	企業	「大賞」 麒麟ビール株式会社 横浜工場 「実践賞」 生活協同組合連合会 ユーコープ事業連合 トレッサ横浜
	児童・生徒・学生	「実践賞」 横浜市立十日市場中学校、及び、地域交流事業実行委員会 横浜市立南中学校 アジサイクラブ 横浜市立南希望が丘中学校 ビオトープ特別委員会
		「生物多様性特別賞」 特定非営利活動法人 鶴見川流域ネットワーク 横浜市立南希望が丘中学校 ビオトープ特別委員会

第 20 回 ・ 24 年 度	市民	<p>「大賞」 トンボはドコまで飛ぶかフォーラム</p> <p>「実践賞」 あおば学校支援ネットワーク あおば発エコ大作戦 実行委員会 大塚・歳勝土遺跡公園愛護会 トンボみちファンクラブ ファイバーリサイクルネットワーク 緑区霧が丘六丁目自治会 弥生台のせせらぎとホテルを守る会 横浜市都田第一土地改良区「不法投棄やめさせ隊」 特定非営利活動法人 楽竹会</p>
	企業	<p>「大賞」 株式会社横浜八景島</p> <p>「実践賞」 ia corporation株式会社 金沢事業所 アズビル株式会社ビルシステムカンパニー横浜支店 株式会社オカムラ物流 横浜物流センター JFEエンジニアリング株式会社 鶴見製作所 JFE環境株式会社 東京ガス株式会社神奈川支社横浜支店 ナイス株式会社 東日本電信電話株式会社 神奈川支店</p>
	児童・生徒	<p>「大賞」 横浜市立戸部小学校 とべエコクリーン委員会</p> <p>「実践賞」 横浜市立芹が谷中学校 環境活動部 横浜市立新羽中学校 自然科学部 横浜市立三保小学校</p>
		<p>「生物多様性特別賞」 トンボはドコまで飛ぶかフォーラム</p>

市民の部(122)、企業の部(85)、児童等の部(26) 合計233団体
※うち、特別賞(3)